

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成27年度技術情報第11号 カンキツ類の黒点病について (送付)

このことについて、今後の防除指導の参考にしてください。

平成27年度技術情報第11号

- 1 対象害虫 黒点病 (*Diaporthe citri* Wolf)
- 2 対象作物 カンキツ類
- 3 発生地域 県本土・熊毛
- 4 発生量 多

5 情報の内容

本年の黒点病の発生は過去10年間で最も多かった平成22年に次いで多く、今後の降雨条件によってはさらに感染が増加する恐れがあるので、枯れ枝のせん除や薬剤散布等の適切な管理に努める。

5 情報の根拠

- (1) 7月の調査での発生ほ場率は33%と平年(18%)の約2倍、発病果率が2.9%と平年(0.7%)の約4倍と高い(図1, 2)。
- (2) 本年の梅雨は降水量及び降雨日数ともに多く、感染には好適な環境であった(表1)。

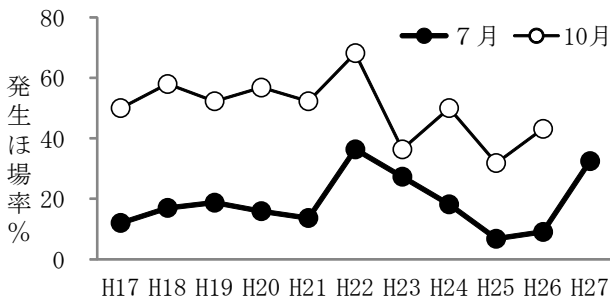


図1 黒点病の発生ほ場率

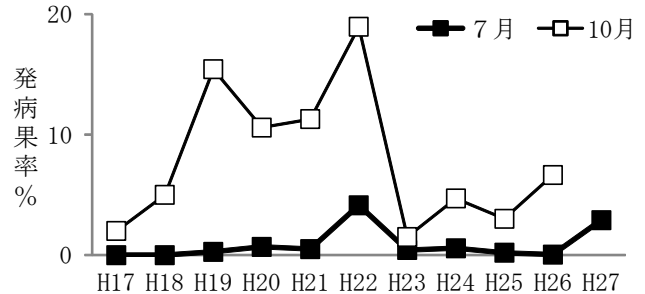


図2 黒点病の発病果率

表1 6月上旬～7月中旬(50日間)の降水量及び降雨日数(1mm以上)

| | 阿久根 | 鹿児島 | 枕崎 | 内之浦 | 屋久島 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 降水量(mm)(平年比) | 1086.5(179%) | 1764.5(261%) | 1744.5(295%) | 1780.5(237%) | 1728.5(177%) |
| 降雨日数(日)(平年比) | 29(133%) | 33(147%) | 33(158%) | 37(157%) | 35(146%) |

6 防除上注意すべき事項

- (1) 伝染源は枯れ枝で、果実の感染は落花直後から収穫期までの主に梅雨期と秋雨の頃に一定時間以上濡れていることで起こる(28℃で8時間以上、20℃で12時間以上)。また、本菌は主枝や幹に発生する樹脂病や貯蔵果実に発生する軸腐病も引き起こす。
- (2) 枯れ枝を可能な限りせん除し、園外へ持ち出して処分する。
- (3) 薬剤の残効は降雨量と散布後日数の影響を受ける。このため、次回の散布は累積降水量250～300mmを目安に行う。ただし、累積降水量がこれより少なくても1ヶ月程度経過したら次の散布を行う。